



ラボの紹介



東京家政大学



1. 調査研究の概要



テーマ

表現活動を通じた社会性向上への試み

検証内容

「好きなこと」や「得意なこと」を起点に、「美術展」形式の表現活動を実施し、共感・自己肯定感や社会性の向上につながる手法を検証

対象

小学3年生～中学3年生

実施時期

R7年10月～12月(8回)

主な実施場所

協力フリースクール

活動内容

個人・グループで制作した作品を「美術展」の形式で他者に紹介し、「いいね」や感想といった気持ちをかたちにして贈り合う活動を実施

活動内容

第1回	自己紹介・AIリテラシー	【個人活動・導入】 ・AI(注)リテラシーを学ぶ ・AIを活用した自分の名刺、いいねカードづくり
第2回	住みたい家	【個人制作と発表】 ・表現したいものを考える ・作品づくり
第3回	住みたい星	
第4回	展示&交流	【第1回美術展】 ・作品の美術展 ・いいねカードを用いた交流
第5回	スクイグル法での制作	【グループ制作】 ・くじ等を用いて、グループを編成 ・グループで美術展の方向性を話し合う ・各回で異なる手法を用いて作品制作
第6回		
第7回	コラージュ法での制作	
第8回	展示&交流	【第2回美術展】 ・グループ作品の美術展 ・再びいいねカードを用いた交流

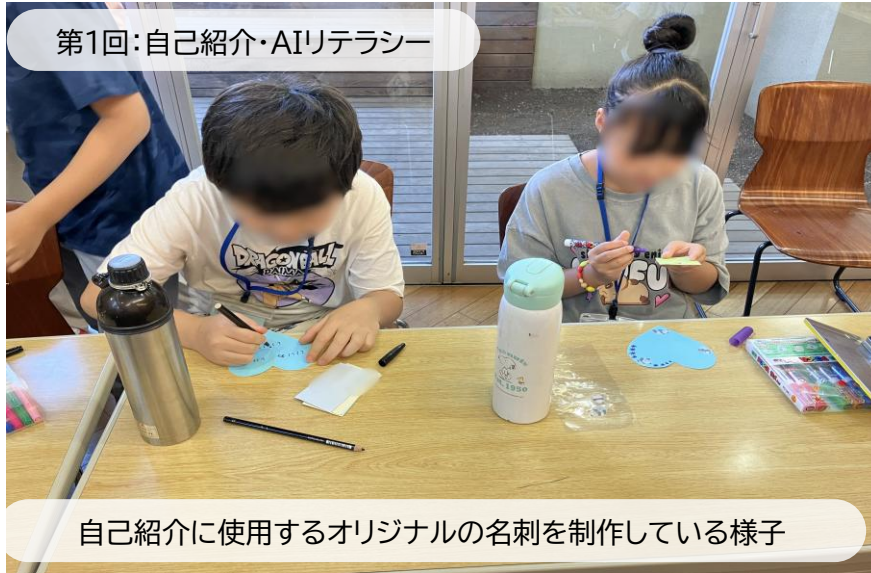
注:使用したAIアプリには13歳未満の子供の使用制限があるため、子供の意図を汲んで、学生サポーター等がAIに入力する運用としました。

活動概要

2. 調査研究活動の様子(1)



第1回: 自己紹介・AIリテラシー



自己紹介に使用するオリジナルの名刺を制作している様子

第2回: 住みたい家



住みたい家のイラストを思い思いに描いている様子

第3回: 住みたい星



住みたい星のイラストを思い思いに描いている様子

第4回: 展示 & 交流

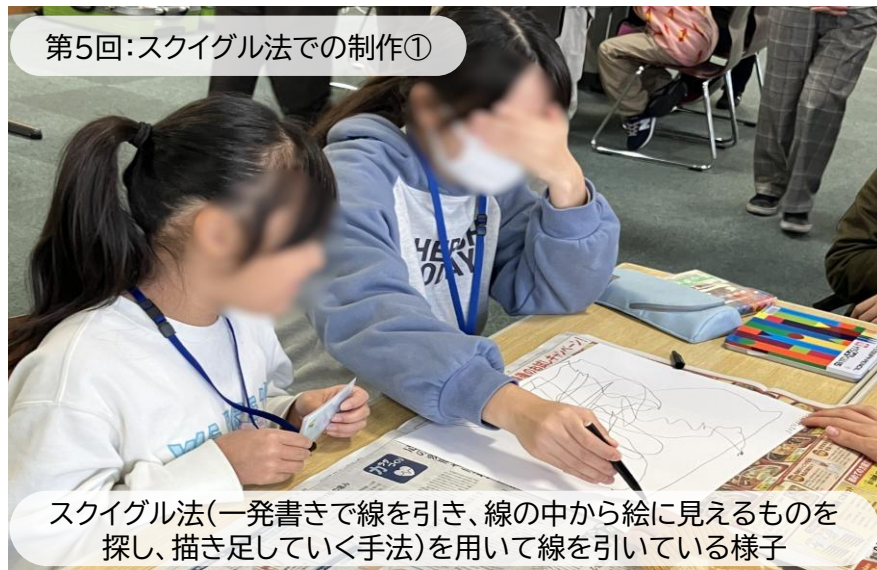


住みたい家・星のイラストを展示し、いいねカードを置いている様子

2. 調査研究活動の様子(2)



第5回:スクイグル法での制作①



スクイグル法(一発書きで線を引き、線の中から絵に見えるものを探し、描き足していく手法)を用いて線を引きしている様子

第6回:スクイグル法での制作②



ランダムに引かれた線の中から、絵に見えるものをを見つけ、色を付けている様子

第7回:コラージュ法での制作



自分で選んだ雑誌を切り抜き、画用紙に貼り付けている様子

第8回:展示&交流②



スクイグル法・コラージュ法で制作した作品を展示し、いいねカードを書いている様子

3. 調査研究活動の関係者の声



参加児童生徒の声

- これまで他者の良いところを伝えることが難しかったが、活動を通じて伝えられるようになり、コミュニケーション能力が高まったと感じた。
- 「いいねカード」を作る活動が楽しかった。
- 今まで描いたことのない白黒の絵に挑戦し、上手に描けたことが良かった。

協力フリースクールスタッフの声

- 互いに褒めあったり、「いいねカード」を通じて他者の良いところを伝える経験ができたことは、子供たちにとって大きな成長となった。
- 人の出入りが多いフリースクールでは、今回のラボ活動のように自分を知ってもらう活動や、相手を理解する活動を定期的に行うことが、過ごしやすい場づくりにつながると感じた。
- 他のフリースクールの子供と同じグループになり緊張していたが、発言を機に表情が和らぎ、自分のやりたいことを積極的に話すようになった。

ラボメンバーの声

- 何かを制作する過程で、子供たちが作品と向き合い、小グループで共有する体験を通して、社会性を育むことができるよう、活動内容を企画した。
- 子供一人一人が何を求めているのか、客観的に評価・分析する必要性を感じた。
- 活動を実施する際には、フリースクールのスタッフがまず体験し内容を理解することで、子供たちに意味を持った提案と実施ができるのではないかと感じた。